ベルルだより

令和５年（2023 年）
２月 １５ 日発行
第 ５５ 号

社会福祉法人森の宮福祉会　ハミングベル中道　・　ハミングベル緑橋　　発行責任者　石塚克哉
大阪市東成区中道2丁目7番1号　TEL06-6971-9788　FAX06-6971-9789　https://humming-bell.or.jp

ハミングベル中道特養

卯年 穏やかに そして飛躍を

今年もお正月は天候に恵まれました。今回も施設前の火除大明神と延命子安地蔵尊でお参り。

時折風が吹いて「寒い～！」と言われながらも熱心にお参りされていました。

理事長、施設長とともに延命子安地蔵尊へ

今年の運勢は？
真剣に読んでいます♪

正月祝い膳♪

三年ぶりに獅子舞を実施しました。厄除けと無病息災を願い頭を噛んでもらいました。

大きな口を見て怖がったり笑ったりして、その場を楽しんでおられました。

「今年も、楽しく元気に過ごせますように」

謹賀新年

ハミングベル緑橋

ハミングベル緑橋の新年は、今年も賑やかなスタートを切ることができました。

朝食はお雑煮や蒲鉾等を召し上がり、ゆっくりと過ごして頂きました。その後、理事長・施設長の新年の挨拶に続き、職員扮する巫女と獅子舞の登場です！場を清めたのち、力強い獅子の舞に皆様「すごいな～！」と感嘆の声をもらされていました。獅子に頭を噛まれると「噛まれたー」と笑顔で喜んでおられました。

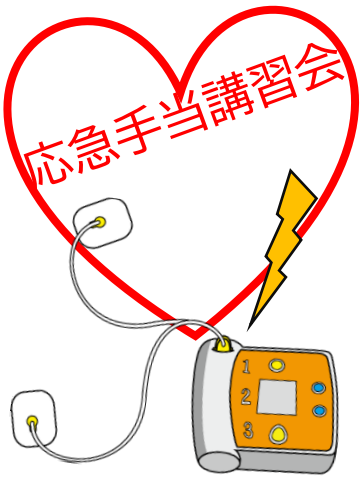
その後、巫女からおみくじを引き、「中吉　頑張ってきた事が実る良い一年となります」「大吉　何をしても大成功　自信を持ちましょう」等の内容にそれぞれ喜んでおられました。

昼食は毎年好評のおせち料理です。「おせちは豪華でええなー」「どれから食べようかー」とノンアルコールビールと共に、召し上がられていました。

今年も笑顔溢れる一年でありますように

ハミングベル中道特養

いざというときのために



およそ3年ぶりに応急手当講習会を実施しました。あらかじめ応急手当普及員講習を受けた職員が講師となってＡＥＤの使い方を含め、職員に対し指導を行いました。

新春 笑 かくし芸大会

ハミングベル中道 デイサービス

コロナ禍でイベントがなかなか開催できない中、一年前に予定していたかくし芸大会を1月20日、21日、の2日間、開催しました。

アルゴリズム行進

オープニングは『アルゴリズム行進！』数年前に子供番組で流行ったものです。女性職員が次々に振りをつけながら行進していきます。

傘回し

ドリフターズの定番コント！かとちゃんケンちゃんに扮し、見ている方にも参加してもらい、曲に合わせたダンスも愉快で、大いに盛り上がりました。

ひげダンス

紙風船やボールを落とさないよう転がして回す新春にふさわしい、懐かしの芸を実演。「おめでとうございます～」の掛け声が聞こえてきそう…

マツケンサンバ

金色の衣装にちょんまげ姿で現れたのは…間違いなくマツケンでした。軽快なダンスで腰もキレキレ！皆さんと握手も交わし、「キャーキャー」という声援に包まれました。（笑いの方が多かったかも）

ソーラン節

早いテンポの曲調で、思うように合わせることが難しかったのですが、皆さんにもなじみのあるソーラン節を力一杯表現しました。「どっこいしょどっこいしょ」「ソーランソーラン」皆さんから声援が上がり、力をもらいました。

雪、雪、雪～

歌いながら頭の上から雪を降らせるという仕掛けで、新沼謙治さんの名曲を披露しました。雪を降らせる道具の扱いにてこずっている様子が笑いを誘いました。

大トリには、美空ひばりに扮した職員が登場すると、「誰？」「わからへん」と困惑顔…徐々に見慣れた職員の顔がわかってくると、笑いに変わっていき、『川の流れのように』をしみじみと聴き入る方もいて、さすが！昭和の大御所は一味違いました。

三三七拍子
皆様へのエールを込め

ハミングベル中道　デイサービス

純喫茶　ハミング

秋も深まる11月、中庭の落ち葉を眺めながらの『純喫茶ハミング』を開店しました。

スイーツはバイキング形式で、ケーキはイチゴ、モンブラン、チョコ等々…。焼き菓子、ドーナツ、クッキー、どら焼き等の中からお好きなものを選んでもらい、淹れたてのコーヒーで喫茶店の雰囲気を味わって頂きました。

お湯を注ぐたびに、深みのある香りがフロアに広がっていきます

コーヒーが苦手な方には紅茶をご用意し、喫茶店は久しぶりと言う方々にも満足して頂けたようでした。

コーヒー豆にもこだわり、モカ、コロンビア、キリマンジャロと毎日違う種類をお出ししました。

「またこのコーヒー飲めた～うれしい」「紅茶も美味しいな～」「ケーキも美味しかったわ」等々、甘い物を食べながら自然と顔もほころび、しばしコーヒーの香りに包まれながら、ほっこりした時間が流れていました。

ハミングベル緑橋

もちつきパフォーマンス

昨年に引き続き皿回し芸に加え、バルーンアートも行いました。ピエロに仮装し風船で来年の干支ウサギを作って、皆様にプレゼント。皿回し芸は、袴姿で登場。華やかな姿に拍手が起こりました。

トリはセンター長による安定の餅つきパフォーマンス。あっという間に出来た鏡餅に皆さん大笑いされていました。最後にはお一人ずつ、餅つきをして頂き、迎春気分を盛り上げました。

ハミングベル緑橋

クリスマス会

クリスマス会では、劇「マッチ売りの少女」を披露しました。主人公の気持ちの入った演技に、利用者様からは「寒そうや」「可哀そうやなあ」と同情の声が上がります。本来は哀しい話ですが…そこはハミングベル流。

役者は無声劇で声を出さず演技だけ行い、マイクで他の職員がセリフを入れます

マッチを擦る度に出て来るのは何人ものサンタ達。出て来る度にひょうきんになるサンタの動きに、見ている皆さんからは笑いが起こり、マッチがなくなった少女に最後にサンタからマッチがプレゼントされるとチャンチャン♪とずっこけて終わりました

利用者様「マッチ（間違え）がえてる」と、見事なオチも付けて下さいました。

サンタ達が去ったあと、部署毎に歌や、楽器演奏、ゲーム等をして、賑やかなクリスマスらしい一日になりました。

クリスマスランチプレート
＆クリスマスケーキ

ふれあい広場

11月5日、東成区福祉まつりふれあい広場に出演。

「お嫁においで」「君といつまでも」「サライ」を手話を交え演奏しました。今年は利用者様も会場に参加することができ、和気あいあいとした雰囲気の中演奏しました。とても楽しい1日でした。

東成区民公開講座

11月12日に開かれた区民公開講座「認知症とともに」に、発表者として参加しました。

認知症の症状の理解と、その時々の思いを大事にすることの必要性を3つの事例に沿ってお話しさせていただきました。

ことわざごはん

～大根おろしに医者いらず～

今回は冬に旬を迎える野菜、大根について紹介します。このことわざは、大根おろしを食べると体の調子が良くなり、医者にかからなくてもよいくらい栄養が豊富だという例えです。

大根には①糖質の消化を助けるアミラーゼ、②たんぱく質の消化を助けるプロテアーゼ、③脂質の消化を助けるリパーゼという消化酵素が含まれています。これらは人間が食事を摂取し、消化していく過程の中でとても重要な働きをしますが、熱に弱く加熱調理でその働きが失われてしまうことがあります。そのため生で食べる大根おろしが栄養も多く効果的です。大根は葉に近い部分から上部、中部、下部の3つに分けることができます。上部は甘みが強い為辛い大根が苦手な方も美味しく召し上がっていただけますが、下部には辛み成分であるイソチオシアネートが含まれており、血液をサラサラにしてくれる働き等があるためこちらもおすすめです。

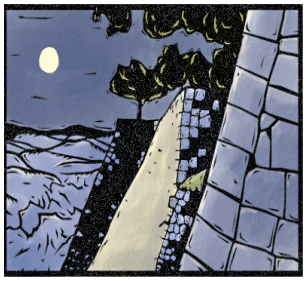
ハミングベル中道管理栄養士　坂本奨菜

音楽療法って？ 第13回

♫ 利用者様の好きな音楽 ♫　その6　【荒城の月】

今回は、特養入所者の一様に好きな曲を伺ったところ、パッとは思いつかないとのことでしたので、一日じっくり考えていただき、次の日、改めて伺うと、素敵な思い出と共に話して下さいました。

それは一様が小学5年生の時のことで、なんと学芸会で主役を務めることになったそうです。そこで歌った『荒城の月』の替え歌が深く印象に残っているとのことでした。『荒城の月』はわずか23歳で亡くなった天才作曲家・滝廉太郎の代表曲の一つであり、明治34年に発表されたにも関わらず現在でも多くの人がご存知の曲です。原曲は無伴奏の歌曲として発表されており、今広く歌われているメロディーは滝の没後に山田耕作が改作・編曲したもので、原曲とは若干異なっているそうです。



当時は替え歌ではあったものの、『荒城の月』を歌うと当時の劇の練習の厳しさや、王子様役を務めていた幼馴染の男の子のことを思い出すとのこと。

歌と共に残った思い出というものは、何十年経ったとしても心の中に深く残るものなのだな…と改めて知ることが出来たエピソードでした。

あとがき

あわただしい日常の中で、いろいろご協力をいただきありがとうございました。今年最初のべるだよりが無事に発行できました。

次の号は、桜、新人職員など春らしい記事で紙面を飾っていきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

ハミングベル中道広報員会
ハミングベル緑橋広報担当